

令和2年(2020年)12月4日
政策創造課長 竹之内
電話 0467-23-3000 (代表)
内線 2791

鎌倉市は「湘南みらい都市研究機構」に参画します

鎌倉市は、学校法人慶應義塾慶應義塾大学 SFC 研究所（以下「SFC 研究所」という。）が設置した「湘南みらい都市研究機構」に、近隣の藤沢市、茅ヶ崎市、寒川町及び逗子市とともに参画し、「湘南発のより豊かな未来都市」の実現に向けた取組を進めてまいります。

1 湘南みらい都市研究機構について

SFC 研究所は、開学 30 周年を機に、「湘南発のより豊かな未来都市」の実現に向けて、自治体・企業・団体・協力機関等による密接な連携・協力のもと、湘南の地域と生活に密着した研究開発の実学を協働で推進し、地域社会の発展、研究・教育活動の推進、人材の育成等に取り組む「湘南みらい都市研究機構（以下、本機構という。）」を令和2年（2020年）12月4日に発足させました。

本市も、本機構の設立の趣旨に賛同し、近隣の藤沢市、茅ヶ崎市、寒川町及び逗子市が本機構へ参画し、今後は他の自治体や産官学金民などの多様な主体との連携のもとで、産官学民連携で未来を共創する研究開発に取り組んでまいります。

2 連携協力事項

次の事項について、連携協力の検討を行っていきます。

- (1) 未来都市の共同研究に関する事項
- (2) 未来都市を担う人材育成に関する事項
- (3) 未来都市におけるライフスタイル、事業モデル、行政サービス、都市経営モデル、イノベーションモデル、先端テクノロジー活用等の研究開発に関する事項
- (4) この協定の主旨のもとで設置する研究コンソーシアムに関する事項
- (5) 自治体における個別プロジェクトに対する慶應 SFC との連携に関する事項
- (6) 知的、人的及び物的資源の活用に関する事項
- (7) その他、目的を達成するために必要な事項

具体的なプロジェクトとしては、地域 IoT のさらなる実践や、スマートシティやファブシティ^{※1}の展開、湘南での SDGs の追求、地域防災や健康長寿の社会システムづくりのさらなる推進、ワーケーションモデルの開発・推進などを想定し、今後、本機構での議論を経て、順次事業を展開してまいります。

※1. 地域で製品を造り、地球レベルのネットワークに知識でつながっている新しい地産地消の都市モデルのことです。

添付資料：SFC 研究所作成記者発表資料

《連絡先》

鎌倉市共創計画部政策創造課 電話：(0467) 23-3000 担当：竹之内
慶應義塾大学 SFC 研究所玉村研究室 電話：(03) 4590-0444 担当：内山
E-Mail：si-lab@sfc.keio.ac.jp